



来島会の優しいシャワーを地域すべての人が浴びられるようにしてほしい。



理事長が
きて
きました



来島会に期待することはなんですか。

来島会理事長
越智清仁

今治市長
徳永繁樹様 01

表紙の人



(左から)今井百合子さん、小谷祐里奈さん

就労支援施設今治ワークスで働くご利用者様です。煎餅の製造(製菓業務)はじめ、施設内外の様々なお仕事に携わっていただいています。

3/11 J2昇格を願って! スタジアムに彩りを。

「ありがとうサービス、夢スタジアム」内の花壇づくりに、ご利用者様10人と職員が参加しました。上から見ると「FC IMABARI GO!GO! J2」という花文字になるよう、設計図を確認しながら色とりどりの花を植えました。



スタジアム内のゴール裏北の広場で見ることができます。試合観戦の際ぜひお立ち寄りください!



市民が真ん中の
持続可能な地域づくり

皆さんもご存じのように人口減少と少子高齢化が進み、また障がいのある方の割合も増加していることから、例えば、介護を必要とされる方や障がいのある方へのサポート人材の不足による支援者の負担増加、地域の担

共生社会の実現と
セーフティーネットの充実

今治市が福祉行政において目指すのは「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」です。そのためには、市民が真ん中で、市民の皆さんの意見を積極的に取り入れながら、「共生社会」を実現し、「セーフティーネット」を充実していくことが必要と考えています。

共生社会の実現には、より多くの市民の皆さんや地域の各種団体に、支援を必要とする方々の社会参加に協力を仰ぐなど、地域の皆さんが地域の課題を「我がこと」として捉え、支え合い、主体となって行動していただけるように働きかけることが大切と考え、様々な取り組みを行っています。

セーフティーネットの充実においては、地域を支援するための相談・支援機関のさらなる強化、福祉現場の専門人材の育成、福祉施設の地域活動への積極的参加など、今まで以上に地域の皆さんに寄り添い、信頼される支援体制の構築を進めています。

伝えることに
力を入れてもらいたい

来島会には、平成5年の法人設立以来、積極的に様々な福祉事業を運営いただき、今治市における障がい者福祉の中心的役割を担っていただいていますよね。障がい者福祉だけではなく、高齢者施設の運営、地域の交流拠点づくりなど、多岐にわたる活躍で、今治市になくはない存在だと思っています。

一方で、来島会のことを、その取り組みの内容まで知っている方は、来島会に関わりのある

い手不足など、様々な生活問題が想定されています。私は、先の市長選挙において、多くの市民からご信任を賜り、「市民が真ん中」という理念のもと、これらの問題に正面から向き合い、持続可能な地域づくりを進めようとしています。

る方だけではないでしょうか。これから来島会には、そのフィロソフィーや文化、取り組み、これまで培ってきたノウハウを発信し、地域の皆さんに伝えていくことに力を入れていただきたい。そして来島会の優しいシャワーをみんなが浴びられるようにしてほしい。そう願っています。

その結果として、これまでどおり地域の皆さんから「来島会なら安心」と言っていただけの団体として活躍することを期待しています。

持続可能な
活力あるまちで
あり続けるために

人口減少、少子高齢化、経済のダウンサイジングに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や爆走デジタルと今、社会は時代の転換点を迎えています。福祉においても、今まで以上に開かれた「未来への新しい風」が求められているのではないのでしょうか。今治市が持続可能な活力あるまちであり続けるために、今治市行政と来島会とは、お互いに緊張感をもって連携していきましよう。



来島会のノウハウや価値観を伝えてほしい

スタンダード化、人材育成、広報力強化が経営の柱です